



怪魚ロマンにひたる! アウトドアも楽しめる神秘の池

ヒスイ峡右岸、標高540mの山中にたたずむ高浪の池には不思議な巨大魚のオブジェがあります。体長4mともいわれる怪魚「浪太郎」。百年にわたる目撃の歴史があり、懸賞金がかけられたことも。

高浪の池は赤禿山の規模地すべりによってできた凹地に水が溜まった、水深13mの天然湖。水の出入りする川がなく、湖底から湧き出る伏流水と地下に浸透する水の駆け引きで水位が上下し、まるで「地下水の窓」のよう。

そんな神秘の山上湖が育んだ巨大魚の真相をめぐっては、放流した鯉にまぎれて入り込んだ外来種のソウギョやアオウオ(最大2m)では?という現実的な説や、鯉か岩魚が異常成長したとする説、中には最大7mにもなるチョウザメ説まで飛び出しました。

訪問時、現地で確認できたのは小さなウグイの群れと浪太郎のオブジェだけでしたが、貸ボートもあり釣りもできる池なので、いつかこの怪魚を狙ってみたいものです。

「怪魚ロマンの池」アラカルト



おとりいけ
大鳥池

20km四方に人里のない深い山中にあり、巨大魚「タキタロウ」が釣り漫画の題材に。麓にはタキタロウの資料館もある。

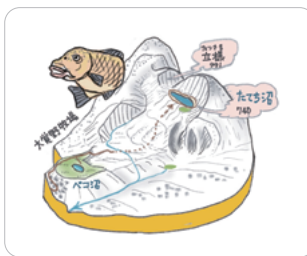
●山形県鶴岡市大鳥



池田湖

水深233mのカルデラ湖で、1970年代の集団目撃を発端に巨大未確認生物「イッシー」が有名に。オオウナギ説もある。

●鹿児島県指宿市池田



たてちぬき
垂天池沼

徒歩でしか行けない山奥の沼で、2mを超える大鯉や1.5mの金色の鯉などの目撃談があり、地元テレビ局の捜索も入った。

●秋田県仙北市西木町上松木内

文・イラスト・写真
市原千尋



Profile

全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に「日本全国 池さんぽ」(三オックス)。



【運営ブログ】水辺遍路

<https://bunbun.hatenablog.com>